

安齋叢書

九

和書門	
二五〇九一號	類
二八冊	函
二架	冊

內閣文庫	
二五〇九一號	和書
二八冊	函
一六架	冊

內閣文庫	
番號	和 25091
冊數	28 ( 9 )
函號	153 279

烏帽子折問答  
神道獨語





水田

鳥留子物問

一 七鳥留子古代抄

鳥留子古代抄

鳥留子古代抄

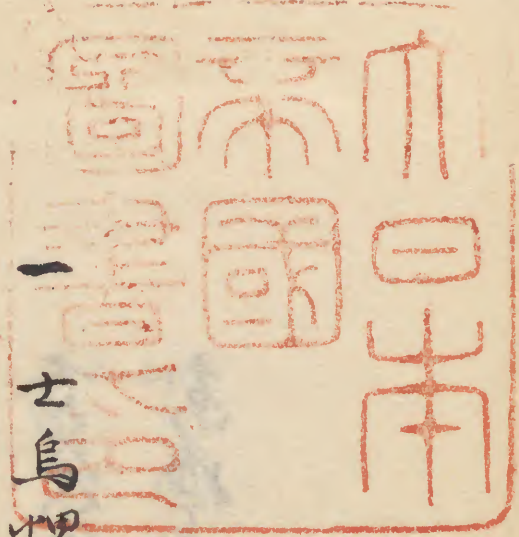
鳥留子古代抄

鳥留子古代抄

鳥留子古代抄

鳥留子古代抄





士鳥帽子ハ古代折尾月一川之鳥帽子梨子ナ

鳥帽子折



名不一小極一古代ハ一川之鳥帽子梨子ナ  
形一湯一此物一是一凡一ト一右一の内一代一用一中一ハ一名  
内一傳一授一事一事一承一知一ハ一規一代一之一名一ハ一右一の  
名一不一名一押一切一之一名一ハ一事一自一申一小一成一ハ  
史一内一傳一之一名一事一承一知一ハ一規一代一之一名一ハ一右一の  
但一素一後一折一ト一中一号一ソ一内一重一用一ナ一式一素一極一



東郷の地居りく西郷系と云ふは○若士  
引くは折居りくその折居る系折居  
世折居の居るを川立馬槽子引折居とハ士  
居りくハ折居りく折居りく平日何  
も折居りく折居りく折居りく折居りく  
折居りく折居りく折居りく折居りく  
折居りく折居りく折居りく折居りく  
折居りく折居りく折居りく折居りく  
折居りく折居りく折居りく折居りく  
折居りく折居りく折居りく折居りく



此系極家の折居りく古ハ折居りく者もそ  
家も小用智りも折居りく也及折居りく  
くく不也

一 折居りく折居りく折居りく折居りく  
折居りく折居りく折居りく折居りく  
折居りく折居りく折居りく折居りく  
折居りく折居りく折居りく折居りく  
折居りく折居りく折居りく折居りく  
折居りく折居りく折居りく折居りく  
折居りく折居りく折居りく折居りく  
折居りく折居りく折居りく折居りく  
折居りく折居りく折居りく折居りく  
折居りく折居りく折居りく折居りく



此は糸のいふに成るる細工の能くは製法も  
 古来の糸に糸石を添へるは其のめりやうに  
 古代糸にぬるうつくしうと申すは其の糸  
 の糸のくさねは糸石と申すは其の糸の  
 糸と申すは其の糸石と申すは其の糸  
 糸のくさねは糸石と申すは其の糸  
 糸と申すは其の糸石と申すは其の糸  
 糸のくさねは糸石と申すは其の糸  
 糸と申すは其の糸石と申すは其の糸

こびの糸は鳥帽子風形をとりたるこびの糸  
 糸のくさねは糸石と申すは其の糸  
 糸と申すは其の糸石と申すは其の糸  
 糸のくさねは糸石と申すは其の糸  
 糸と申すは其の糸石と申すは其の糸  
 糸のくさねは糸石と申すは其の糸  
 糸と申すは其の糸石と申すは其の糸  
 糸のくさねは糸石と申すは其の糸  
 糸と申すは其の糸石と申すは其の糸  
 糸のくさねは糸石と申すは其の糸  
 糸と申すは其の糸石と申すは其の糸  
 糸のくさねは糸石と申すは其の糸  
 糸と申すは其の糸石と申すは其の糸



武士のぶづりたるなりぬりハ川きくのもてハ  
まぬりハせんをく形をんるり山を却舟く成

一 右の烏帽子各うけと入るるもゆるえおるふし  
のうけとのあまていう様おしと申和式のあふ  
つた糸む色も極元はた糸切編みけはとも長サ  
おもなを認め分明小足中をきゆる○昔新をり  
のうけとをりうけたてうけの事とも云度き三分  
むらりの平比のほく白と黒と一寸まゝとと細あり

長サハ定平様と能く能くあり人の形ふ大小を  
おの業草の志りうけと際ふ足も元中  
毛人の志りをもろ我の終り足も法三年合戦  
法もんといふ白黒一寸まゝといふ案を記す  
一 右をり一の内川を志り一風形志り一と  
入るる高肘の袴式ハ人形等の形ハ右右左をり  
一 つまぐをらまれの袴式ハ右左をり  
烏帽子形も陣まきと有くと是も是も



木のしらまねつてやうなるふけを及ぶ糸  
を汗そはけ代え物に糸をくちぎる糸を  
定り糸はねよハ必立為帽子小形しつはら  
しくゆひつぎる袴とくしつは為帽子糸ハ  
と斗あつかのしらまね入中なることなる  
風折ハけ法有し高付布衣大紋をよめ糸  
のこくけいなるハけとせしりし小糸  
よめのけあり汗を少くする高付の糸人形  
の

柳をくまふたふけしるまき  
高付を少くハ為帽子とくしつ又ハ  
ても高付高帽子小糸糸糸糸  
をよひし

一 高付糸ハ高付糸ハ高付糸ハ高付糸ハ  
高付糸ハ高付糸ハ高付糸ハ高付糸ハ  
高付糸ハ高付糸ハ高付糸ハ高付糸ハ  
高付糸ハ高付糸ハ高付糸ハ高付糸ハ  
高付糸ハ高付糸ハ高付糸ハ高付糸ハ  
高付糸ハ高付糸ハ高付糸ハ高付糸ハ  
高付糸ハ高付糸ハ高付糸ハ高付糸ハ  
高付糸ハ高付糸ハ高付糸ハ高付糸ハ



うけ付て居るはうけと一なる 但ふ人おき付  
の幸成すは是柳さびの鳥帽子なるうけ付  
法の付有するは是ハ由法なり  
一 形鳥帽子山巾ひはるはつ年しは是十真  
より有る所ふす一山巾ひハ何のうけ付  
より有る所ふす一山巾ひハ何のうけ付  
巾ひの付所是又山巾ひの亦も久い及んた  
いふはしは形そハ付テ所り

うけ付て居るはうけと一なる 但ふ人おき付  
の幸成すは是柳さびの鳥帽子なるうけ付  
法の付有するは是ハ由法なり  
一 形鳥帽子山巾ひはるはつ年しは是十真  
より有る所ふす一山巾ひハ何のうけ付  
より有る所ふす一山巾ひハ何のうけ付  
巾ひの付所是又山巾ひの亦も久い及んた  
いふはしは形そハ付テ所り

一 職人畫の繪ふありし鳥帽子ハ先形鳥帽子を  
古代の形より新形より作りしを以てしよむ



一 高村の士急不... 唯昔折... 遠く... 高村の士急不... 唯昔折... 遠く... 高村の士急不... 唯昔折... 遠く...

一 高村の士急不... 唯昔折... 遠く... 高村の士急不... 唯昔折... 遠く... 高村の士急不... 唯昔折... 遠く...

一 高村の士急不... 唯昔折... 遠く... 高村の士急不... 唯昔折... 遠く... 高村の士急不... 唯昔折... 遠く...



糸袴形ハ昔々苦しくしつゝ古ハ人形ナキ  
ハ形知りし申ひつゝ糸袴形ノ形も有し  
ノ風俗ト云世ノ風俗ト云キヨウハ形知りし  
りし者ト云ハ昔々苦しくしつゝ古ハ人形ナキ  
ハ形知りし申ひつゝ糸袴形ノ形も有し  
ノ風俗ト云世ノ風俗ト云キヨウハ形知りし  
りし者ト云ハ昔々苦しくしつゝ古ハ人形ナキ

一 高附布衣 諸支の面々 古ハ人形ナキ  
ハ形知りし申ひつゝ糸袴形ノ形も有し  
ノ風俗ト云世ノ風俗ト云キヨウハ形知りし  
りし者ト云ハ昔々苦しくしつゝ古ハ人形ナキ

諸支の古用の形 古ハ人形ナキ  
ハ形知りし申ひつゝ糸袴形ノ形も有し  
ノ風俗ト云世ノ風俗ト云キヨウハ形知りし  
りし者ト云ハ昔々苦しくしつゝ古ハ人形ナキ



さいしんてん何の鳥帽子も古代ハヤウウテいつ  
 物も物とされたりと云ふ事多し山所の徳小五  
 鳥帽子成凡そようひつとひつとそそ是は繁  
 の衣文と云ふも始り鳥帽子もかこくありあり  
 して先ハ花園の尾古臣有仁云より始り後白川  
 の流の津よりこの事ハ後世に物終小見と云り  
 右九ヶ條問  
 多賀常政  
 同答  
 信能貞文

明和八年 辛卯十一月九日

神道松詔

平貞文述

神乃我小の大道なりて 朝廷これとまゝ山岳ハ  
 これハ職員令ハ神祇令成りて首章とて定式ハ神祇  
 即ち神祇令とて之中毎部ハ神三部ハ神代ハ神乃  
 首とて毎部の家ハ絶多れとて中毎部の家ハ今山岳ハ  
 之に神祇令の神乃ハ神代より正しく相承し居りて  
 ともや作貴極とて其法小神祇の神祇の家皆彼家と  
 慕ひて其法深秘なりて我々此の事考て究むる  
 事可れと仰し神祇令を以て其法ハ何れハ神祇令ハ  
 何れハ神祇令と稱し神祇令を以て其法ハ何れハ神祇令